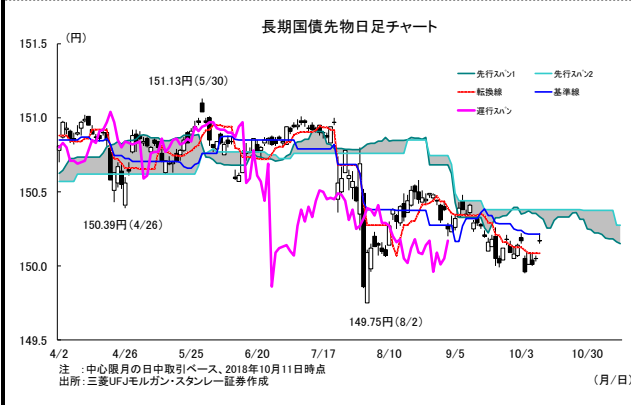


債券投資ダイリー

インベストメントリサーチ部 シニア債券ストラテジスト 稲留 克俊

2018年10月12日(金)

1. 前営業日の債券市場



昨日の長国先物は、続伸。前日のNYダウの大幅下落を背景に、国内でも株安・円高が進行。リスク回避的な債券買いが優勢だった。30年利付国債入札の無難通過も追い風。ただ、日経平均株価が一時前日比1,000円超も下げた割には、債券の上値追いは限られた印象だった。櫻井日銀審議委員は、需要超過状態での緩和継続による不均衡蓄積の可能性等を説明。ただ、JGB市場の機能回復に関する言及はなく、相場材料にならなかった。現物債も、一般的に堅調。30年利付国債入札を波乱なく通過した超長期債が相対的に強含んだ。

注: 市場データ等は次頁以降のデータ集をご覧ください。

2. 本日の債券市場見通し

予想レンジ (日中)	債券先物(12月限)	150.15 円	~	150.30 円	(前営業日の日中終値: 150.17 円)
	新発 10年国債利回り	0.130 %	~	0.140 %	(前営業日の当社引値: 0.140%)
	新発 20年国債利回り	0.655 %	~	0.665 %	(前営業日の当社引値: 0.665%)

本日の債券市場見通しは、買い先行後、もみ合い。

昨日の米国債は、上昇した。NYダウが一時前日比▲700ドル弱の続落となるなか、リスク回避的な米国債買い圧力が強かった。米9月CPIの予想比下振れや、米30年国債入札の好結果も、追加的な米国債買い材料になった。

本日の円債は、こうした流れを受けて続伸して始まりそうだ。日中の注目材料である日銀・長国買入オペも、相場のサポートになろう。今日のオペ対象は中期債と超長期債。円債市場では、9月下旬以降、超長期債を中心にした日銀・長国買入オペの減額観測を背景に、金利先高観が出て、買い難さに繋がってきた。特に今日のオペでの減額観測が、今週初頃までは強かった。しかし、足もとではそうした観測が後退していよう。IMFが世界経済見通しを2年ぶりに下方修正したり、内外株価が大きく下落したり、と金利低下を支持する方向の材料が多く出てきているからだ。「経済・物価情勢等に応じたある程度の上下変動」を念頭に置いた金利コントロールを掲げる日銀にとって、今の買入減額の根拠は乏しい。今日の買入額が据え置かれ、落札結果も無難なら、減額観測や金利先高観がいったん後退し、底堅く推移するだろう。

もっとも、上値の重さは残るとみている。世界連鎖的な株安が早期に収束し、日銀・長国買入オペの減額観測が再燃するシナリオを債券市場参加者は排除し切れないとみられるからだ。今回の米株急落の主因の1つとされている貿易戦争による悪影響は、たしかにIMFがそれをメインシナリオとして認めたこともあって、一段と警戒されやすくなった。ただ、もう1つの主因とされる米長期金利は、一昨日・昨日ともに、株安を受けて低下に転じている。金利上昇→株安が連鎖的に続くサイクルにはなっていない。昨日の円債相場が日経平均の大幅安にも関わらず上値が重かったのも、オペ減額観測や金利先高観をまだ払しょくし切れないう見立てが背景にあるのではないかと。(07:15)

注: 前営業日以降のニュース・海外市況及び本日の相場材料や市場予想等は次頁以降のデータ集をご覧ください。

米国内で配布される場合: 本レポートは、機関投資家向けに作成されたものであって、負債性有価証券に関するリテール投資家向けのリサーチレポートであれば適用される一連の独立性及び開示の基準については、そのすべての適用を受けるわけではありません。本レポートは、MUSA又はMUMSSが保有する利害との関係において、独立性を有さない可能性があります。MUSA及びMUMSSは、自己勘定において又は顧客のため行う一任運用の一環として、本レポートで取り上げた有価証券の取引を行っています。このような取引による利害は、本レポートにおいてなされる推奨と相反する場合があります。本レポートの末尾に記載されているアナリストによる証明事項及び重要な開示事項をご覧ください。

本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

3. データ集

●10月12日(金)の相場材料				市場予想	前日実績
8:50	9月マネーストック	M3	Y	+2.5%	+2.5%
12:30	3ヵ月T-Bill入札				
13:30	8月第3次産業活動指数		M	+0.3%	+0.1%
●10月11日(木)の国内・海外市況					
<JGB>	始値	高値	安値	終値	(前日比)
2年393回債	-0.125%	-0.125%	-0.125%	-0.125%	(▲0.005%)
5年136回債	-0.070%	-0.070%	-0.070%	-0.070%	(▲0.005%)
10年352回債	0.140%	0.140%	0.140%	0.140%	(▲0.010%)
20年165回債	0.665%	0.665%	0.665%	0.665%	(▲0.015%)
30年59回債	0.920%	0.920%	0.915%	0.920%	(▲0.020%)
40年11回債	1.080%	1.085%	1.080%	1.085%	(▲0.015%)
物価連動国債23回債BEI				0.500%	(▲0.010%)
<経済指標>	実績	市場予想	前日実績		
9月銀行貸出動向(含む信金)	Y	+2.3%	n.a	+2.2%	
9月企業物価指数	Y	+3.0%	+2.9%	+3.0%	
日経CPINow・T指数(7日MA)	(10/9)	+0.48%	n.a	+0.44%	
<国債入札・オペ>	30年国債(第60回)入札 表面利率:0.9% 応札倍率:3.92倍 平均落札価格:100円04銭(利回り:0.898%) 最低落札価格:100円00銭(利回り:0.900%) 第II非価格競争入札:73億円 日銀・T-bill買入:1,000億円 1年T-Bill発行予定額公表(10/18入札分)2兆1,000億円程度				
<株式>	終値	前日(OSE)比			
日経平均株価	22,590.86	(▲915.18)			
TOPIX	1,701.86	(▲62.00)			
シカゴ日経平均先物(Dec18)(円建て)	22,485	(▲95)			
<外国為替>	終値	前日(東京)比			
円/ドル	(東京) 112.22	(▲0.85)			
	(海外) 112.07	(▲0.15)			
ドル/ユーロ	(東京) 1.1540	(+0.0047)			
	(海外) 1.1595	(+0.0055)			
<商品>	終値	前日比			
WTI	(Nov18) 70.97	(▲2.20)			
CRB	196.63	(▲1.49)			
NY GOLD	(Dec18) 1227.6	(+34.2)			
<夜間・海外>	終値	前日比			
香港ハンセン指数	25,266.37	(▲926.70)			
上海総合指数	2,583.458	(▲142.379)			
ドイツ国債10年利回り<Reuters>	0.520%	(▲0.032%)			
米国債先物10年	(Dec18) 118 9/32	(+3/32)			
米国債2年利回り<Reuters>	2.848%	(▲0.008%)			
米国債10年利回り<Reuters>	3.146%	(▲0.047%)			
米国債30年利回り<Reuters>	3.316%	(▲0.062%)			
米NYダウ	25,052.83	(▲545.91)			
米NASDAQ	7,329.063	(▲92.988)			
<ニュース・要人発言等>	<p>●櫻井日銀審議委員(講演・会見で)「当面は、強力な金融緩和政策を継続することが適当。そのうえで、政策の副作用の状況を不断に点検し、緩和効果と比較衡量しつつ、金融緩和と政策の持続可能性を判断していくことが重要。総需要が総供給を上回る良好なマクロ経済環境のもとで、「物価安定の目標」の達成を目指して、緩和的な金融環境を継続していくことは、金融・経済の両面で不均衡の蓄積に繋がるリスクがある」「物価安定の目標のみを重視し、その早期実現を図るため、やみくもに過大な需要超過を政策的に作り出すことは、たとえ可能であるとしても、望ましくない」「現在でも実はかなり強い金融緩和策をとっているため、これ以上強いものをする必要はない、しばらくは現在の緩和を維持することによって、その動向を見守ればよいのではないかと」</p> <p>●米9月CPI総合、前月比+0.1%(予想:+0.2%,8月:+0.2%) …コア指数は、前月比+0.1%(予想:+0.2%,8月:+0.1%)</p> <p>●米新規失業保険申請件数、21.4万件(予想:20.7万件、前週:20.7万件)</p> <p>●トランプ 米大統領(記者団に対して)「(株価の急落は)長く待たれていた調整だ。だがFRBがしていることには完全に反対だ。FRBは狂ってしまった。引き締めすぎだ」「パウエルFRB議長を、解任する意向はない」</p> <p>●ワールド IMF専務理事(CNBCのインタビュー等で)「われわれが強く推奨するのは貿易を巡る緊張を緩和し、より堅固・公平で目的にかなった世界貿易システムに向けて努力すること」「パウエルFRB議長とルイーズは結びつかない」「世界経済はおそらく十分に強くない」</p> <p>●トランプ 米大統領(19年投票権あり、IMF年次総会で)「政策金利が良い水準である段階に既に到達した」「NAFTA2.0のような通商合意が増えれば、貿易や経済成長に関連した不透明感の緩和に寄与する」</p> <p>●ジョージ・ミコ連銀総裁(19年投票権あり、講演で)「ほぼすべての指標で、米経済は順調に推移している。見通しはFOMCが目標金利をさらに段階的に引き上げることが必要となる算が大きい」</p> <p>●第1次補正予算、総額9,400億円程度に、建設国債を7千億円程度発行(産経)</p>				

注: JGB4本値は日経-JPN/GOV/Tより、物価連動国債BEIは弊社引値、日経CPINow・T指数(7日移動平均)は前年同日比、LIBORは1営業日前。市場予想はBloomberg
出所: 日本銀行、株式会社サウキャスト、Reuters、Bloomberg等より三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

<国債先物>		前日(日中)比		
長期【日中】(Dec18)	始値	150.17		
	高値	150.22		
	安値	150.15		
	清算値	150.17	(+0.12)	
長期【夜間】(Dec18)	清算値	150.21	(+0.04)	
超長期【日中】(Dec18)	清算値	152.74	(+0.40)	
<短期金利など>		終値	前日比	
無担保コールレート(翌日物)		▲0.050%	(+0.003%)	
東京レポレート(翌日物T+1)		▲0.118%	(▲0.010%)	
LIBOR・3M		▲0.07717%	(▲0.00117%)	
LIBOR・6M		0.00933%	(▲0.00150%)	
日本円TIBOR・3M		0.06909%	(0.00000%)	
日本円TIBOR・6M		0.12636%	(0.00000%)	
T-Bill・3M	(#787)	▲0.319%	(+0.001%)	
T-Bill・6M	(#788)	▲0.185%	(▲0.003%)	
T-Bill・1Y	(#784)	▲0.170%	(+0.002%)	
ユーロ円金先	(Dec18)	99.925	(0.000)	
ドル円ペーシス・スワップ・3M		▲53.0bp	(▲2.3bp)	
ドル円ペーシス・スワップ・1Y		▲35.3bp	(▲1.9bp)	
<JGBバーイールド・SWAP金利>				
	JGB	(前日比)	SWAP	(前日比)
1Y	-0.140%	(+0.000%)	0.029%	(▲0.003%)
2Y	-0.117%	(▲0.000%)	0.056%	(▲0.004%)
3Y	-0.105%	(▲0.004%)	0.083%	(▲0.005%)
4Y	-0.084%	(▲0.005%)	0.113%	(▲0.006%)
5Y	-0.058%	(▲0.005%)	0.146%	(▲0.008%)
6Y	-0.020%	(▲0.009%)	0.184%	(▲0.009%)
7Y	0.008%	(▲0.010%)	0.225%	(▲0.010%)
8Y	0.054%	(▲0.010%)	0.266%	(▲0.011%)
9Y	0.098%	(▲0.010%)	0.308%	(▲0.013%)
10Y	0.143%	(▲0.010%)	0.351%	(▲0.013%)
11Y	0.222%	(▲0.012%)	0.395%	(▲0.014%)
12Y	0.274%	(▲0.013%)	0.440%	(▲0.014%)
13Y	0.324%	(▲0.014%)	0.483%	(▲0.014%)
14Y	0.375%	(▲0.015%)	0.526%	(▲0.014%)
15Y	0.430%	(▲0.016%)	0.569%	(▲0.014%)
16Y	0.489%	(▲0.016%)	0.605%	(▲0.014%)
17Y	0.550%	(▲0.015%)	0.640%	(▲0.015%)
18Y	0.609%	(▲0.015%)	0.676%	(▲0.015%)
19Y	0.662%	(▲0.014%)	0.712%	(▲0.016%)
20Y	0.705%	(▲0.013%)	0.748%	(▲0.016%)
21Y	0.740%	(▲0.013%)	0.771%	(▲0.017%)
22Y	0.766%	(▲0.013%)	0.794%	(▲0.017%)
23Y	0.787%	(▲0.014%)	0.817%	(▲0.017%)
24Y	0.806%	(▲0.015%)	0.840%	(▲0.017%)
25Y	0.823%	(▲0.015%)	0.863%	(▲0.018%)
26Y	0.842%	(▲0.016%)	0.877%	(▲0.018%)
27Y	0.862%	(▲0.016%)	0.892%	(▲0.018%)
28Y	0.883%	(▲0.017%)	0.906%	(▲0.019%)
29Y	0.904%	(▲0.017%)	0.921%	(▲0.019%)
30Y	0.925%	(▲0.017%)	0.935%	(▲0.020%)
40Y	1.034%	(▲0.013%)	1.020%	(▲0.023%)

本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

【ご案内】

- ◆「債券投資デイリー」の eメール配信先の変更・追加・削除等につきましては、お手数ですが弊社の営業担当者までお申し付けください。
- ◆「債券投資デイリー」は、Bloomberg に開設している弊社リサーチページ、および弊社ホームページでもご覧いただけます。

[Bloomberg] MUFJ

[ホームページ]

http://www.sc.mufg.jp/wholesale/ws_report/index.html

Appendix A

アナリストによる証明

本レポート表紙に記載されたアナリストは、本レポートで述べられている内容（複数のアナリストが関与している場合は、それぞれのアナリストが本レポートにおいて分析している銘柄にかかる内容）が、分析対象銘柄の発行企業及びその証券に関するアナリスト個人の見解を正確に反映したものであることをここに証明いたします。また、当該アナリストは、過去・現在・将来にわたり、本レポート内で特定の判断もしくは見解を表明する見返りとして、直接又は間接的に報酬を一切受領しておらず、受領する予定もないことをここに証明いたします。

開示事項

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（以下「MUMSS」）は、MUMSSのリサーチ部門・他部門間の活動及び／又は情報の伝達、並びにリサーチレポート作成に関与する社員の通信・個人証券口座を監視するための適切な基本方針と手順等、組織上・管理上の制度を整備しています。

MUMSSの方針では、アナリスト、アナリスト監督下の社員、及びそれらの家族は、当該アナリストの担当カバレッジに属するいずれの企業の証券を保有することも、当該企業の、取締役、執行役又は顧問等の任務を担うことも禁じられています。また、リサーチレポート作成に関与し未公表レポートの公表日時・内容を知っている者は、当該リサーチレポートの受領対象者が当該リサーチレポートの内容に基づいて行動を起こす合理的な機会を得るまで、当該リサーチに関連する金融商品（又は全金融商品）を個人的に取引することを禁じられています。

アナリストの報酬の一部は、投資銀行業務収入を含むMUMSSの収益に基づき支払われます。

MUMSS及びその関連会社等は、本レポートに記載された会社が発行したその他の経済的持分又はその他の商品を保有することがあります。MUMSS及びその関連会社等は、それらの経済的持分又は商品についての売り又は買いのポジションを有することがあります。

MUMSS・その他MUFJ関連会社、又はこれらの役員、提携者、関係者及び社員は、本レポートに言及された証券、同証券の派生商品及び本レポートに記載された企業によって発行されたその他証券を、自己の勘定もしくは他人の勘定で取引もしくは保有したり、本レポートで示された投資判断に反する取引を行ったり、マーケットメーカーとなったり、又は当該証券の発行体やその関連会社に幅広い金融サービスを提供しもしくは同サービスの提供を図ることがあります。

MUMSSの役員（以下、会社法（平成17年法律第86号）に規定する取締役、執行役、又は監査役又はこれらに準ずる者をいう）は、次の会社の役員を兼任しています：三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱倉庫。

本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

免責事項

本レポートは、MUMSSが、本レポートを受領されるMUMSS及びその関連会社等のお客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買の推奨あるいは特定の証券取引の勧誘、申込みを目的としたものではありません。

本レポート内でMUMSSに言及した全ての記述は、公的に入手可能な情報のみに基づいたものです。

本レポートの作成者は、インサイダー情報を使用することはもとより、当該情報を入手することも禁じられています。MUMSSは株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「MUFG」)の子会社等であり、MUMSSの方針に基づき、MUFGについては投資判断の対象としておりません。

本レポートは、MUMSSが公的に入手可能な情報のみに基づき作成されたものです。本レポートに含まれる情報は、正確かつ信頼できると考えられていますが、その正確性、信頼性が客観的に検証されているものではありません。本レポートはお客様が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。また、MUMSS及びその関連会社等は本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、また、MUMSSは本レポート内に含まれる情報及び見解を更新する義務を負うものではありません。ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について当社は一切責任を負いません。

当社は、本レポートの論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する場合があります。また、MUMSSは関連会社等と完全に独立してレポートを作成しています。そのため、本レポート中の意見、見解、見通し、評価及び目標株価は、異なる情報源及び方法に基づき関連会社等が別途作成するレポートに示されるものと乖離する場合があります。

本レポートで直接あるいは間接に採り上げられている有価証券は、価格の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがあります。また、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。本レポートにて言及されている投資やサービスはお客様に適切なものであるとは限りません。お客様は、独自に特定の投資及び戦略を評価し、本レポートに記載されている証券に関して投資・取引を行う際には、専門家及びファイナンシャル・アドバイザーに法律・ビジネス・金融・税金その他についてご相談ください。

MUMSS及びその関連会社等は、お客様が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる結果のいかなるもの(直接・間接の損失、逸失利益及び損害を含むがこれらに限られない)についても一切責任を負わないと共に、本レポートを直接・間接的に受領するいかなる投資家に対しても法的責任を負うものではありません。

本レポートの利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、又は保証するものではありません。特に記載のない限り、将来のパフォーマンスの予想はアナリストが適切と判断した材料に基づくアナリストの予想であり、実際のパフォーマンスとは異なることがあります。従って、将来のパフォーマンスについては明示又は黙示を問わずこれを保証するものではありません。

本レポートの利用に際しては、上記の一つ又は全ての要因あるいはその他の要因により現実的もしくは潜在的な利益相反が起こりうることをご認識ください。なお、MUMSSは、会社法第135条の規定により自己の勘定でMUFG株式の売買を行うことを禁止されています。

本レポートで言及されている証券等は、いかなる地域においても、またいかなる投資家層に対しても販売可能とは限りません。本レポートの配布及び使用は、レポートの配布・発行・入手可能性・使用が法令又は規則に反する、地方・州・国やその他の地域の市民・国民、居住者又はこれらの地域に所在する者もしくは法人を、対象とするものではありません。

英国及び欧州経済地域: 本レポートが英国において配布される場合、本レポートはMUFGのグループ会社であるMUFG Securities EMEA plc (以下「MUS(EMEA)」)。電話番号: +44-207-628-5555)により配布されます。MUS(EMEA)は、英国で登録されており、Prudential Regulation Authority (プルーデンス規制機構、「PRA」)の認可及びFinancial Conduct Authority (金融行動監視機構、以下「FCA」)とPRAの規制を受けています(FS Registration Number 124512)。本レポートは、professional client (プロ投資家)又はeligible counterparty (適格カウンターパーティー)向けに作成されたものであり、FCA規則に定義されたretail clients (リテール投資家)を対象としたものではありませんので、誤解を回避するため、同定義に該当する顧客に交付されてはならないものです。MUS(EMEA)は、本レポートを英国以外の欧州連合加盟国においてもprofessional investors (若しくはこれと同等の投資家)に配布する場合があります。本レポートは、MUS(EMEA)の組織上・管理上の利益相反管理制度に基づいて作成されています。同制度には投資リサーチに関わる利益相反を回避する目的で、情報の遮断や個人的な取引・勧誘の制限等のガイドラインが含まれています。本レポートはルクセンブルク向けに配布することを意図したものではありません。

米国: 本レポートはMitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd. (以下「MUMSS」)によって作成されたものです。MUMSSは日本で証券業務の認可を取得しております。本レポートが米国において配布される場合、本レポートはMUFGのグループ会社であるMUFG Securities Americas Inc. (以下「MUSA」)。電話番号: +1-212-405-7000)により配布されます。MUSAは、United States Securities and Exchange Commission (米国証券取引委員会)に登録されたbroker-dealer (ブローカー・ディーラー)であり、Financial Industry Regulatory Authority (金融取引業規制機構、「FINRA」)による規制を受けています(SEC# 8-43026; CRD# 19685)。本レポートがMUSAの米国外の関連会社等により米国内へ配布される場合、本レポートの配布対象者は、1934年米国証券取引所法の規則15a-6に基づくmajor U.S. institutional investors (主要米国機関投資家)に限定されております。本レポートは証券の売買及びその他金融商品への投資等の勧誘を目的としたものではありません。また、いかなる投資・取引についてもいかなる約束をもするものでもありません。本レ

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

レポートが米国で大手機関投資家以外の個人に配布される限りにおいて、MUSA は以下の条件のもとでその内容について責任を負っています。本レポートの執筆者であるアナリストは、リサーチアナリストとしてFINRAへの登録ないしFINRAの資格取得を行っておらず、MUSAの関係者ではない場合があります。したがって、調査対象企業とのコミュニケーション、パブリックアピランス、アナリスト本人の売買口座に関するFINRAの規制に該当しない場合があります。FLOESはMUSAの登録商標です。

IRS Circular 230 Disclosure (米国内国歳入庁 回示230 に基づく開示) : MUSAは税金に関するアドバイスの提供は行っていません。本レポート内(添付文書を含む)の税金に関する記述はMUSA及び関連会社以外の個人・法人が本レポートにおいて研究する事項に関する勧誘・推奨を行う目的、又は米国納税義務違反による処罰を回避する目的で使用することを意図したのではなく、これらを目的とした使用を認めておりません。

日本: 本レポートが日本において配布される場合、その配布はMUFGのグループ会社であり、金融庁に登録された金融商品取引業者であるMUMSS(電話番号: 03-6742-4550)が行います。

シンガポール: 本レポートがシンガポールにおいて配布される場合、本レポートはMUFGのグループ会社であるMUFG Securities Asia (Singapore) Limited (以下「MUS(SPR)」)。電話番号: +65-6232-7784)とのアレンジに基づき配布されます。MUS(SPR)はシンガポール政府の承認を受けたmerchant bankであり、Monetary Authority of Singapore (シンガポール金融管理局)の規制を受けています。本レポートの配布対象者は、Financial Advisers Regulation of Singapore 2に規定されるinstitutional investors、accredited investors、expert investorsに限定されます。本レポートは、これらの投資家のみによる使用を目的としており、それ以外の者に対して配布、転送、交付、頒布されてはなりません。本レポートがaccredited investors及びexpert investorsに配布される場合、MUS(SPR)はFinancial Advisers Actの次の事項を含む一定の事項の遵守義務を免除されます。第25条: 一定の投資商品に関してファイナンシャル・アドバイザーが全ての重要情報を開示する義務、第27条: ファイナンシャル・アドバイザーが合理的な根拠に基づいて投資の推奨を行う義務、第36条: ファイナンシャル・アドバイザーが投資の推奨を行う証券に対して保有する権利等について開示する義務。本レポートを受領されたお客様で、本レポートから又は本レポートに関連して生じた問題にお気づきの方は、MUS(SPR)にご連絡ください。

香港: 本レポートが香港において配布される場合、本レポートはMUFGのグループ会社であるMUFG Securities Asia Limited (以下「MUS(ASIA)」)。電話番号: +852-2860-1500)とのアレンジに基づき配布されます。MUS(ASIA)はHong Kong Securities and Futures Ordinanceに基づいた認可、及びSecurities and Futures Commission (香港証券先物取引委員会; Central Entity Number AAA889)の規制を受けています。本レポートはSecurities and Futures Ordinanceにより定義されるprofessional investorを配布対象として作成されたものであり、この定義に該当しない顧客に配布されてはならないものです。

その他の地域: 本レポートがオーストラリアにおいて配布される場合、MUS(ASIA)又はMUS(SPR)により配布されています。MUS(ASIA)はAustralian Securities and Investment Commission (ASIC) Class Order Exemption CO 03/1103に基づき、Corporations Act 2001が定める金融サービスの提供者によるオーストラリア金融業免許の保有義務を免除されています。MUS(SPR)はASIC Class Order Exemption CO 03/1102により同様に義務を免除されています。本レポートはオーストラリアのCorporations Act 2001に定義されるwholesale clientのみを配布対象としております。本レポートがカナダにおいて配布される場合、本レポートはMUS(EMEA)又はMUSAにより配布されます。MUSAはinternational dealer exemptionの措置により次の各州、準州において金融取引業者としての登録を免除されています: アルバータ州、ケベック州、オンタリオ州、ブリティッシュ・コロンビア州、マニトバ州、ニュー・ブランズウィック州、ニューファンドランド・ラブラドル州、ノースウエスト準州、ノバスコシア州、アトランティック準州、プリンス・エドワード・アイランド州、サスカチュワン州、ユーコン準州。MUS(EMEA)はinternational dealer exemptionの措置により次の各州において金融取引業者としての登録を免除されています: アルバータ州、ケベック州、オンタリオ州、ブリティッシュ・コロンビア州、マニトバ州。本レポートはカナダにおけるNational Instrument 31-103によって定義されたpermitted clientのみを配布対象としております。本レポートに含まれる情報は、いかなる場合においても、カナダの州、準州において、目論見書、広告、公募又は特定の証券の売買の勧誘若しくは申込みを目的としたものではありません。また、いかなる場合においても、本レポートに含まれる情報は、カナダの州、準州において投資上のアドバイスとして解釈されるものではなく、また顧客のニーズを考慮して作成されているものではありません。

又は本レポートは、インドネシアにおいて複製・発行・配布されてはなりません。また中国(中華人民共和国「PRC」を意味し、PRCの香港特別行政区・マカオ特別行政区、及び台湾を除く)において、複製・発行・配布されてはなりません(ただし、PRCの適用法令に準拠する場合は除きます)。

本レポートは、米国、日本やその他の証券規制法規により配付を制限されている投資家、および個人投資家を対象にしたものではありません。

債券取引には別途手数料はかかりません。手数料相当額はお客様にご提示申し上げる価格に含まれております。

Copyright © Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd. All rights reserved.

本レポートはMUMSSの著作物であり、著作権法により保護されております。MUMSSの書面による事前の承諾なく、本レポートの全部もしくは一部を変更、複製・再配布し、もしくは直接的又は間接的に第三者に交付することはできません。

〒100-8127 東京都千代田区大手町1丁目9番2号 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 インベストメントリサーチ部

(商号) 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号

(加入協会) 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。